

重要!

通信陸上大会 参加チームへの連絡

1 学校受付について

7:15~8:30の間に、スタジアム事務室前に「体調管理チェックシート」を提出する。
※上記以外の時間帯は、本部（競技運営室6）にて受付を行う。

2 大会出場承諾書、体調管理チェックシートの記入と作成について

(1) 大会出場承諾書、体調管理チェックシート（大会前/提出用）

選手は、下図を **A4の用紙に両面印刷** すること。確実に記入し大会当日に提出すること。

引率者は、「体調管理チェックシート（大会前/提出用）」を毎日提出すること。

保護者の捺印を忘れずに

8月23日から記入すること

(一財)宮城陸上競技協会
会長 角屋 勇夫 様

大会出場承諾書

1 大会名 第66回全日本中学校通信陸上競技大会宮城県大会

2 選手氏名 _____

3 出場種目 _____

4 学校名 _____

5 検温状況

	大会1日目	大会2日目
大会前日夜の体温	() °C () °C	() °C () °C
大会当日朝の体温	() °C () °C	() °C () °C

※体温が37.5°C以上の場合、大会への参加はできません。

6 体調 () 良好 () 不良

※どちらかに○印を記入。不良に○が付いた場合は大会への参加はできません。

日本陸上競技連盟活動再開ガイドライン

- 三密の回避（招集所・選手控え場所・更衣室・観客席）を実施します。
- 感染症対策として競技役員・選手（競技中以外）のマスク着用、手指消毒の徹底をします。
- トイレ、手洗い場所に石鹸を設置します。
- 多くの人が頻りに触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保ちます。
- 参加者に大会出場承諾書の提出、体調管理チェックシート大会前1週間を提出、健康管理チェックシート大会後2週間を実施し健康管理に留意してもらいます。
- 医師・医療機関と連携を図っています。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をとお約束することは難しいと思われまます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。

上記大会の参加にあたり、日本陸上競技連盟活動再開ガイドラインを理解し、検温の実施・体調管理や大会当日の怪我・大会参加後の感染症等について保護者が責任を持ち、主催者に報告し、大会への参加を認めます。

令和 2年 月 日

保護者氏名 _____ 印

連絡先 _____

※大会承諾書については、大会終了後1ヶ月保管し、その後主催者で責任を持って破棄いたします。

JAAF

【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会連日間の記入、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所へ提出すること
※該当しない場合は○を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1°C単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	8月23日~30日											
		8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日	8月29日	8月30日				
1	のどの痛みがある												
2	咳（せき）が出る												
3	痰（たん）がでたり、からんだりする												
4	鼻水、鼻づまりがある ※PLU-V-SRC												
5	頭が痛い												
6	体のだるさなどがある												
7	37.5°C以上の発熱がある												
8	息lessnessがある												
9	味覚異常(味がしない)												
10	嗅覚異常(匂いがしない)												
11	体温												

連絡先（電話番号） _____

所属（学校名など） _____

保護者氏名 _____

※この用紙は、緊急を要する場合以外には使用いたしません。

(2) 体調管理チェックシート（大会後/個人管理用）

右図を印刷し、大会終了後に**各自で、管理**する。症状が出ない場合は、提出の必要はありません。

症状が出た場合は、必ず報告する。
報告先：宮城陸協事務局

JAAF

【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会終了後2週間は健康チェックすること。
※該当しない場合は○を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1°C単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日
		1	のどの痛みがある												
2	咳（せき）が出る														
3	痰（たん）がでたり、からんだりする														
4	鼻水、鼻づまりがある ※PLU-V-SRC														
5	頭が痛い														
6	体のだるさなどがある														
7	37.5°C以上の発熱がある														
8	息lessnessがある														
9	味覚異常(味がしない)														
10	嗅覚異常(匂いがしない)														
11	体温														

※症状が4日以上続く場合は必ず貴署の保健所、医師会、診療所等に報告してください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに報告してください。
※保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告してください。

3 体調管理チェックシートの扱いについて

<来場時>

- ①チーム代表者（引率者）は、全てのチーム関係者（引率者、選手、補助員）の「体調チェックシート」を回収する。
- ②学校受付（7：15～8：00）で提出し、確認を受ける。受付時間以外の時間帯に来場した場合は、本部（競技運営室6）で受付を行うこと。

※「体調チェックシート」の未提出、不備、発熱等のある者は入場できない。

<帰宅時>

- ①チーム代表者（引率者）は、当日の参加者の体調を確認する。
- ②本部（競技運営室6）で、朝に提出した「体調チェックシート」を受け取る。
- ③当日の参加者の体調、チームの待機場所の位置について報告する。
- ④「体調チェックシート」を参加者に配布し、解散させる。

※2日間とも、「体調チェックシート」の確認を行う。

4 チームの待機場所について

待機場所についての指定等はないが、以下に示す注意点を確認すること。

- ①ソーシャルディスタンスの確保
 - ・チーム間の間隔を十分に確保する。
 - ・チーム内で待機する人数が最小限になるよう工夫する。
- ②テントを使用する際には、横幕を使用しないこと。
- ③スタンド席の活用。（利用の際は、前後左右を1つ空けて使用する）
- ④室内走路は、原則として立入禁止とする。

※競技が終了した選手は、できるだけ早く解散させるようにお願いします。

5 ウォーミングアップ場の利用について

- ①大会当日に競技のある選手のみ使用可。
- ②リレー以外のウォーミングアップは、個人で行うこと。監督・コーチ以外の付添者のウォーミングアップ場への入場は認めない。
- ③3密を回避するため、できるだけ短時間で終わらせるように工夫すること。

※2日目の競技のための調整練習は、サブトラック、投てき場ともに不可とする。

※室内走路は、原則として立入禁止とする。（荒天時は、別途指示をする）

6 招集について

招集所は、従来通り第1ゲート外側（100mスタート側）とするが、感染防止のため以下の流れで行う。

<トラック競技>

- ①招集開始時刻から招集完了時刻の間に招集所に入る。
- ②競技役員のチェックを受ける。（中長距離種目は腰Noの受け取り）
- ③チェックを受けた選手から順次、スタート地点へ各自で移動する。
- ④スタート地点で、競技役員の指示に従い待機。

<フィールド競技>

- ①招集開始時刻から招集完了時刻の間に招集所に入る。 ※棒高跳の選手は現地集合
- ②競技役員のチェックを受ける。（中長距離種目は腰Noの受け取り）
- ③チェックを受けた選手から順次、ピットへ各自で移動する。
- ④ピット周辺で、競技役員の指示に従い待機。

※感染防止のため、招集所では集団で着席せず、競技役員のチェック後は各自で移動する。

※競技中に場内を各自で移動するので、競技の妨げとならないように十分注意する。

7 表彰について

- ①各競技の決勝終了後、8位までの入賞者は入賞者待機場所（ドーピング室隣）に各自で移動する。
- ②賞状等の準備ができ次第、表彰係より随時渡す。
※表彰台を用いた表彰式（アナウンス等も）は行わない。

8 スタンドの使用について

- ①メインスタンド（メイン上部は不可）・サイドスタンドのみ使用可。ただし、棒高跳の競技中はバックスタンドのコーチングエリアのみ使用可とする。
- ②スタンドからの応援は、一切禁止とする。
- ③スタンドには、テントやタープは張らないこと。
- ④スタンドで観戦する際は、座席の前後左右を空けて観戦すること。

9 横断幕、のぼり旗の設置について

感染防止のため、横断幕、のぼり旗等の設置は一切禁止とする。

10 その他

(1) 各チームで準備するもの

- ①マスク
※競技中、ウォーミングアップ、クーリングダウン以外は、マスクまたはフェイスシールド等を着用すること。ただし、熱中症の危険がある場合は他人との距離を十分に（1m以上）とり、マスク等を外しても良い。
- ②手指消毒液
※消毒液は競技場内の要所に設置するが限りがあるので、各チームで準備すること。
- ③ゴミ袋
※ゴミに関しては、各チームで毎日、持ち帰ること。
- ④滑り止め（炭酸マグネシウム）
※フィールド競技で使用する競技場に設置している滑り止め（炭酸マグネシウム）は、感染防止のために共用できません。必要な競技者は各自で準備すること。

(2) 体調不良者が発生した場合（大会期間中）

- ①本部（競技運営室6）への連絡。本部から救護担当へ連絡。
- ②医務室（隔離室）で、状況確認。
- ③本部、救護担当、チーム代表者で処置を検討。
- ④検討結果により、医療機関へ搬送、または帰宅等の措置。

(3) 記録の発表について

- ①「密」を避けるために結果の掲示は行わない。
- ②速報サイトで、結果の確認を行うこと。

(4) 観戦について

- ①3年生の保護者のみ、観戦可とする。必ず、マスクを着用すること。
- ②必ずスタンドを使用すること。（メインスタンド、サイドスタンドのみ）その際に、前後左右の座席を1つ以上空けて座ること。
- ③入館時に「健康チェックシート（保護者用）」をスタジアム正面入り口で提出すること。各所属は、事前に「健康チェックシート（保護者用）」を観戦希望の保護者に配布しておくこと。